



日本医療機能評価機構
認定病院

原三信病院 広報誌

いちにのさんしん

Ichi • Nino • Sanshin

No.80

2022.8.1



作品名:「夏だ、BEACH BOYS!」 撮影地:「福岡県 福津市」 撮影者:「齋藤 栄介」

CONTENTS

お知らせ「原三信おはまクリニックからのお知らせ」	2
トピックス「入退院支援について」	3
特集「子宮脱について」	4
医学雑学「肩の痛みについて -五十肩と腱板断裂-」	6
THE がんばる人たち「がん化学療法看護認定看護師」	8
管理栄養士がつくる季節のレシピ	9
薬の豆知識・香椎原病院だより	10
さんしんニュース「新規検査機器“トリニティ”導入」	11

病院理念

病人のための病院

病院基本方針

1. 質の高い医療の追求
2. 居心地の良い環境の提供
3. 心のこもったサービスの実践

原三信泌尿器クリニックは 「原三信おおはまクリニック」に 変わりました

原三信泌尿器クリニックは、令和4年7月1日より原三信おおはまクリニックとなり、奥村 幹夫医師が院長に就任いたしました。

当クリニックは「地域のかかりつけ医」として、通常診療に加えて訪問診療やオンライン診療の導入、土曜診療の実施など、患者さんがより気軽に受診ができる環境を整えております。

今後ともより良い診療を提供できるよう努めてまいりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

● 診療科目

外科 乳腺外科 泌尿器科

● 診療内容

通常診療 往診・訪問診療

電話・オンライン診療

※自由診療も行っております

● 診療スケジュール

休診日：日、祝日

	診療時間	月	火	水	木	金	土
午前	9:00~13:00	○	○	○	○	○	○
午後	14:00~18:00	/	○	○	○	/	/

※原則として予約制です

※受付時間は診療終了30分前までです

院長あいさつ

この度、原三信おおはまクリニック院長を拝命いたしました奥村幹夫と申します。原三信病院では、主に乳腺内分泌外科の診療、救急外来で泌尿器科を含めた幅広い外科領域全般の診療を行ってまいりました。

原三信おおはまクリニックでは、外科・乳腺外科・泌尿器科、更にオンライン診療・訪問診療も充実させてまいります。また、薬剤師としての経験を活かし慢性疾患の治療にも取り組んでまいります。

CTやMRI・マンモグラフィ等の検査は今まで通り近接する原三信病院で実施していますが、画像検査の結果はオンラインでの説明も行っており、詳しい検査が必要な場合でもより簡便に受診いただけるよう診療体制を整えております。患者さんの状態によっては、原三信病院と連携し、速やかに入院していただくことができます。

今後とも地域医療の発展に努力し、「地域のかかりつけ医」として邁進してまいりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

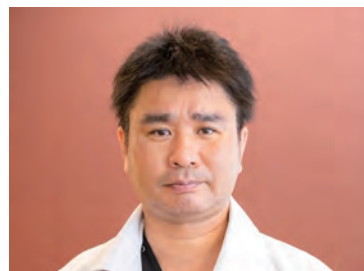
原三信おおはまクリニック

住所 〒812-0034

福岡市博多区下呉服町2-13 双和ビル2階（双和薬局上）

電話 (092) 283-5121

FAX (092) 283-5131



原三信おおはまクリニック
院長 奥村 幹夫

略歴

- ・1989年 長崎県 青雲学園高等学校 卒業
- ・1994年 福岡大学薬学部卒業 薬剤師
- ・1995-2000年 ミツワ薬局 管理薬剤師
- ・2007年 鹿児島大学医学部卒業 医師
- ・2008年 湘南鎌倉総合病院 初期研修医
- ・2010年 九州大学臨床・腫瘍外科学入局 外科医師
- ・2011年 製鉄記念八幡病院 外科医師
- ・2012年 福岡赤十字病院 外科医師
- ・2013年 新小倉病院 外科医師
- ・2015年 下関市立市民病院 救急科・外科 医長
- ・2018年 千早病院 外科医師 訪問診療を開始
- ・2019年 原三信病院 乳腺外科・外科 医長

専門医・認定医・所属学会

- ・日本外科学会 外科専門医
- ・日本乳癌学会 乳腺認定医
- ・日本乳腺検診学会
- ・マンモグラフィ読影医、乳がん検診超音波検査判定医師
- ・日本内分泌学会
- ・日本内分沁外科学会
- ・日本緩和医療学会
- ・日本救急学会
- ・日本消化器外科学会
- ・日本内視鏡外科学会

～適切な時期に、適切な場所で、適切な治療と療養を～

当院の入退院支援についてご紹介します。

2020年10月に開設した入退院支援センターには、入院時支援看護師が5名、退院支援看護師3名、ソーシャルワーカー4名が在籍しております。

入退院支援センターの開設で、患者さんやご家族が現在お困りになっていること、入院にあたってご心配になることなどを、入院前から把握することができるようになりました。この情報は、病棟のスタッフ、退院支援担当者と共有してカンファレンスを行い、退院に向けた支援に役立てています。

入院中は、退院後の生活をイメージして、ご本人やご家族のご希望を伺い支援内容を考えます。

急性期治療が終わっても引き続き療養が必要な方や、退院に向けたリハビリ治療の継続や生活指導が必要な方には、当院の地域包括ケア病棟への転棟や、地域の支援病院への転院をお勧めしています。

入退院支援センター
センター長 林 真
副センター長 宮崎 さとみ



当院では、治療と暮らしをサポートするため 入院・転院・退院の最適なタイミングをご案内しております



急性期病棟

原三信病院は、高度な治療が必要な方を対象とした急性期病院です。急性期病棟の入院期間は、通常、**1～2週間を目安としています。**
(病気の状態によります)



リハビリ・療養

患者さんの状態により、原三信病院内の**地域包括ケア病棟**への転棟や地域の支援病院の回復期リハビリ病棟や地域包括ケア病棟、医療療養病棟、介護医療院等へ転院して、**リハビリ・生活指導・療養と、退院に向けた準備(介護保険の申請)などを行います。**

退院後

退院後は、服薬支援や病状観察、認知症のケアなど、安心した生活を過ごせるように**訪問看護や訪問リハビリ、介護サービスをご利用ください。**



原三信病院

地域の支援病院・介護施設
訪問看護ステーションなど

退院後の生活に支援が必要な場合、介護保険の申請や現状にあった区分変更、社会福祉制度や福祉用具の案内を行います。段差のある場所の歩行が難しくなった、家事ができなくなった、お風呂に1人で入るのが困難など、ご自宅での生活が以前のようにできなくなっている場合や、お一人暮らしをされている親御さんのご心配、または経済的なご不安や、お世話をしている方の負担軽減が必要など、ご相談内容に制限はありません。不安の種はそのまま持ち帰らずに、病棟の退院支援担当者や看護師、入退院支援センターのスタッフにお気軽にご相談ください。

特

集

子宮脱について



婦人科 部長
片岡 恵子

・・・婦人科の順番が来た。

院外向け広報誌「いちにのさんしん(夏号)」に寄稿せよという原稿依頼が広報からきた。

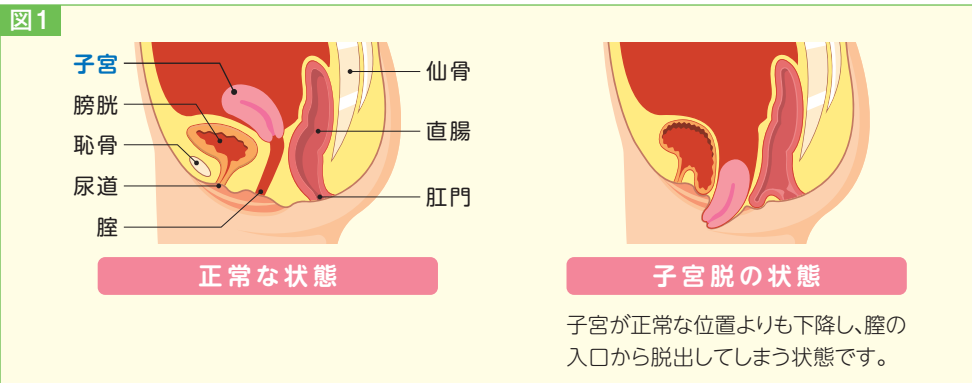
ブログ^(※)を気ままに書き散らしているから、別に書かなくても良からうと駄々をこねたが、どうやら許されそうにないので、今日も書いています。書くことばかり。・・・しかし、どうでもいいことはいっぱい書けるのに、いざちゃんとしたことを書いてくださいと言われると一字も書けなくなるのはなぜなんだろう・・・

「いちにのさんしん(夏号)」よ、見出しもタイトルも内容も一任すると言ったね。その通りにするよ！ほんとだな!! 書いた通りに掲載してよー

さて、子宮脱とはなんぞや、とお尋ねがあるかもしれない(いきなり)。

文字通り、子宮が下がっていることだよ。

お腹に力を入れると、お尻の方からいろんな気体や個体が出てくるのは周知の事実だけれど、女性は年齢と共に子宮と膣壁が膣の入口から出てきやすい(図1)。お産をしたことが一度でもあれば、多少膣は広がって、体の底を支える筋肉は緩んでいる。・・・と書くと、不安になる産後すぐの若い女性もいるかもしれないが、お産後、子宮が下がったままになることは少なく、たいてい、半年もすれば元の位置に近いところまで戻ってくる。赤ちゃんのお世話に忙殺されている間にうまいこと回復するだろう。お疲れ様です。



問題は、閉経してから、です。それまで女性ホルモンでなんとか「膣のしなやかさ」が保たれていたにも関わらず、悲しいかな、卵巣の寿命が先に尽きてしまい、そのしなやかさがなくなってしまったらヤツが本気で下がってくる。

外来で皆が切々と訴える「ピンクのピンポン玉のようなものが下がってきます」「朝はいいんだけど、夕方、ご飯の用意をしていたら何かが出てきます」「お風呂で何か触ります」の、全ての何か、は子宮の入口か、そうでなければ一緒に下がってきた膣の壁です。

主力選手は70代。それより以前におしっこのトラブルや便秘、ピンポン玉が出現した場合は、ちょっと若いねえ・・・となります。

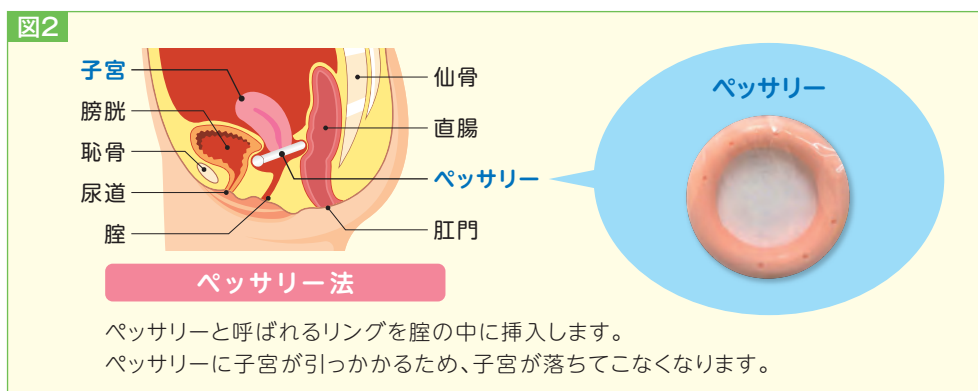
子宮が下がっても命の心配はないため、ご本人のトラブルの程度によって治療する、しないは決ま

ります。軽症で、さほど今の状態であることを気にしないなら治療の必要はありません。ただ、一昔前と違って、60代でも70代でも80代でも元気な美魔女ばかりであるため、旅行やショッピングに忙しいはずで、散歩のたびに子宮が下がってきて、おじやまなこと極まりないと考えていたり、まだ現役バリバリで仕事に下がってくると困る、なんて方はよいよ治療が必要かもしれません。

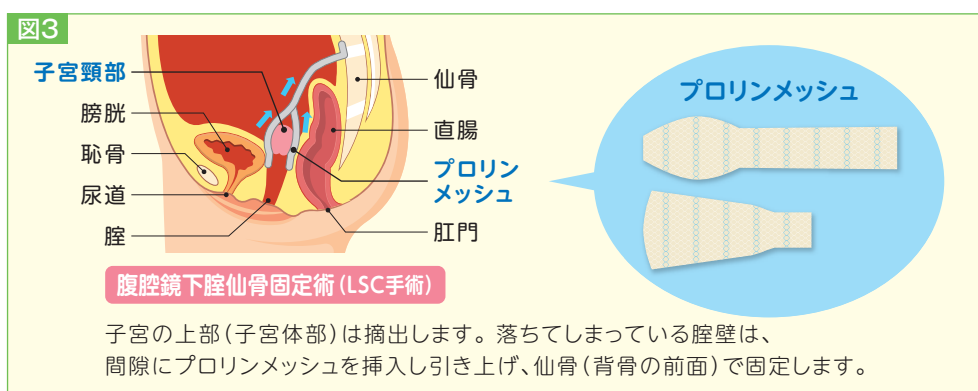
治療は大まかに分けて二つ。手術をする方法としない方法です。

手術なんてしたくないわ、という方は、ペッサリー法(図2)という、膣の中に入れて使う輪っかで落ちてくる子宮を支える、という作戦でなんとかなるならなんとかします。最近シリコン製なので素材が柔らかく片手で取り扱え、ご自分で着け外しができる、という一芸が習得できれば通院は年に1回でよくなり、がん検診のついでに病院に行けば良い、となるので快適。

ちょっとお年を召してきて、自分ではどうも着け外しが無理です、という方は3~6ヶ月に一度くらいは通院してもらわないといけません。如何せん、膣の中に物を入れますので、たまには消毒しないと不潔かつ、膣の粘膜に怪我をしまいかねないからです。よってご面倒でも婦人科に定期的に通っていただくことが必要です。



さて、比較的度が重かったり、発症が50代、60代など比較的早かったりの場合は手術を考えた方がいいかもしれません。最近子宮を摘出して緩んでしまった膣を縫い縮める方法の他に、みかんを入れるネットに似ているという噂のプロリンメッシュを使って、膣をある程度落ちてくる前の高さに持ち上げる方法(図3)も開発されています。



どなたにどの手術が合っているかは好みや生活状況をお聞きした上で担当医がご本人と一緒に考えますので、もしお困りの方がいらっしゃいましたら、ぜひ原三信病院婦人科をご受診ください。

※当院ホームページにて、「原三信病院婦人科便り」を公開しております。こちらもぜひご覧ください。

原三信病院婦人科便り



肩の痛みについて - 五十肩と腱板断裂 -



整形外科 部長
竹内 直英

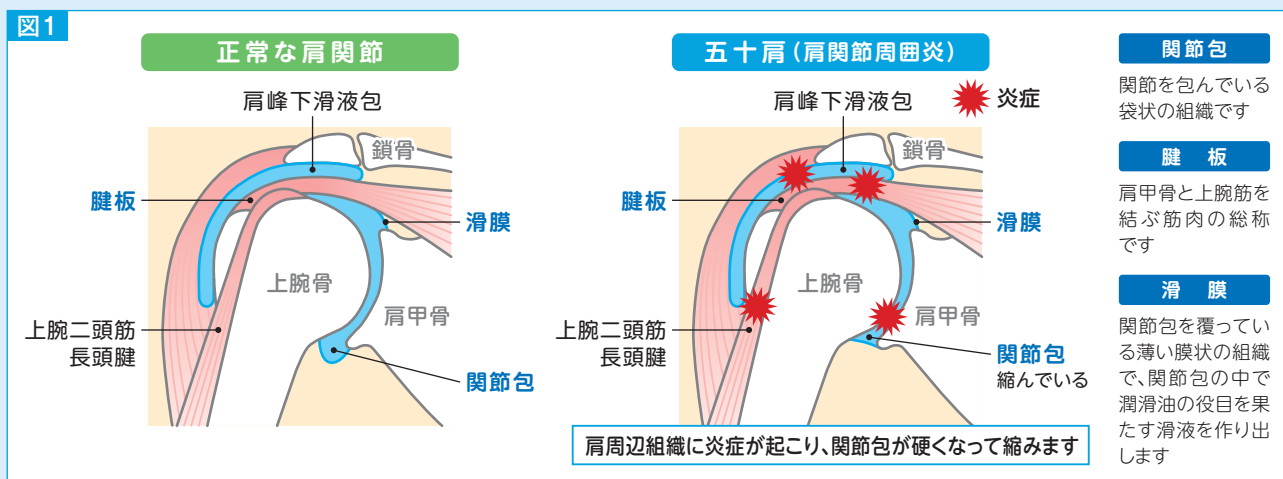
「五十肩」と「腱板断裂」は肩関節痛を生じる代表的な疾患です。今回はこの2つの疾患について解説します。

★五十肩

肩関節痛と運動制限(肩が挙がらない)を認め、40歳代以降に多く発生します。「肩関節周囲炎」の病名を使うこともあります。

五十肩では、腱板や関節包に炎症(滑膜炎)が生じ、その結果、関節包が癒着して硬くなり、肩関節の動きが制限されます(図1)。なぜ腱板や関節包に炎症が生じるかについては、現在でも十分に解明されていません。

関節包に炎症が生じて癒着し、肥厚すると、肩関節の可動域が著しく制限されます。これを凍結肩(狭義の五十肩)といいます。単純X線撮影やMRIでは、明らかな異常所見を認めないことが多いです。



凍結肩はその症状の変化により、以下の3つの病期に分かれます。

- ① **炎症期**: 肩関節痛と運動制限が続く時期(発症から約2か月間)
- ② **凍結期**: 肩関節痛は消失するが、運動制限が残る時期(2~6か月)
- ③ **回復期**: 肩関節の可動域制限が改善する時期(6~12か月)

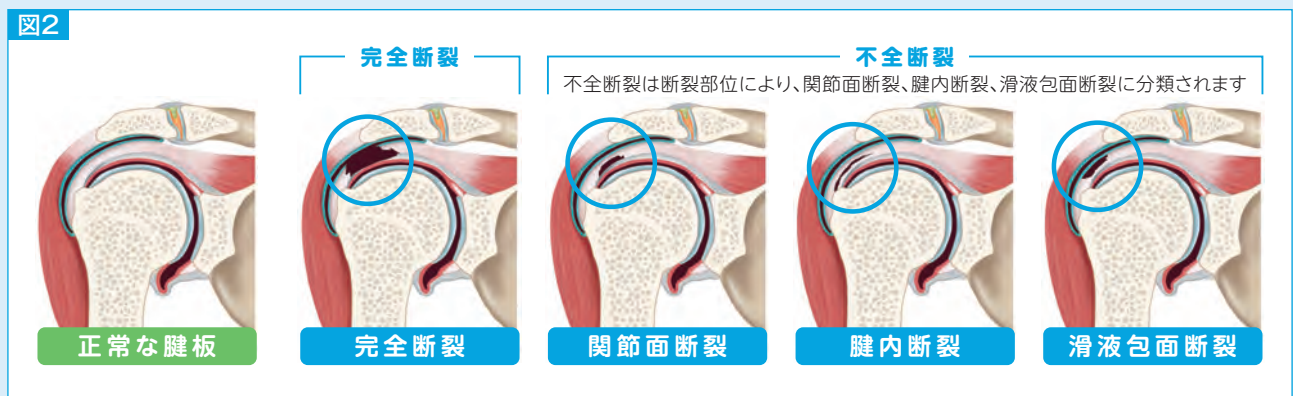
治療ですが、炎症期では、鎮痛薬・注射療法・三角巾固定を行います。運動療法は、振り子運動のみにとどめ、積極的な肩関節の可動域訓練は疼痛が増悪する可能性があるため、この時期には行いません。凍結期では、運動療法(可動域訓練)を積極的に始めます。また痛みに応じて、注射療法を行います。回復期では、肩関節の可動域訓練や、温熱療法(低周波治療など)を積極的に行う必要があります。

五十肩に対する注射療法は、ステロイドとヒアルロン酸を使用します。ステロイド注射は除痛効果を持続させる目的で、懸濁性ステロイド(トリアムシノロンアセトニド)を約1か月に1回の頻度で行います。除痛の効果は個人差がありますが、1~2か月程度です。また、ヒアルロン酸は炎症を軽減し、関節軟骨の保護と変性を予防します。1週毎に5回行い、その後は2週間に1回の間隔で注射します。除痛効果は、ステロイド注射がヒアルロン酸注射に比べて高いです。肩関節には2つの大きな関節(肩甲上腕関節と肩峰下腔)があり、痛みの部位に応じて注射する部位を決めます。炎症期と凍結期は注射療法を継続することで、痛みを改善することが期待できます。五十肩の患者さんの70%は6か月~12か月の保存治療で治癒しますが、可動域制限が残る場合は、関節鏡視下関節包解離術の適応となります。

		発症		
病期と治療等		炎症期 発症から約2か月間	凍結期 2～6か月	回復期 6～12か月
経過		<ul style="list-style-type: none"> 肩関節痛と運動制限が続く時期 	<ul style="list-style-type: none"> 肩関節痛は消失するが、運動制限が残る時期 	<ul style="list-style-type: none"> 肩関節の可動域制限が改善する時期
治療		<ul style="list-style-type: none"> 鎮痛薬・注射療法・三角巾固定を行う 運動療法は、振り子運動のみにとどめる (積極的な肩関節の可動域訓練は疼痛が増悪する可能性があるため、この時期には行わない) 	<ul style="list-style-type: none"> 運動療法(可動域訓練)を積極的に始める 痛みに応じて、注射療法を行う 	<ul style="list-style-type: none"> 肩関節の可動域訓練や、温熱療法(低周波治療など)を積極的に行う必要がある

★腱板断裂

腱板断裂は、五十肩と異なり、腱板が部分的に損傷しているか、全層にわたって断裂している疾患です。「肩のスジが切れた」と表現することがあります。腱板は、上腕骨の近位部(大結節)に付着していますが、その部位の腱組織が断裂していることが多いです。腱板断裂には、連続性が断たれた完全断裂と、部分的に断裂しているが連続性は保たれている不全断裂に分類されます(図2)。腱板断裂の3人に1人に痛みを生じます(有痛性腱板断裂)。また、腱板断裂を放置した場合、47%の患者さんで断裂サイズが大きくなり、断裂幅が1年間で2.0-3.8mm増加した、と報告されています。



腱板断裂の症状は、痛みと挙上制限(腕が挙がらない)です。また、夜間痛を生じることがあります。夜間痛がなぜ生じるかという、就寝中の仰臥位の状態では、上腕骨が背側に移動し、滑膜炎の好発部位である肩関節前面(腱板疎部)が緊張するからです。肩関節の下にクッションを置いて、上腕骨が背側に移動しないように工夫をすると夜間痛を軽減することが期待できます。

診断は、理学所見と単純X線撮影・MRIを用いて行います。腱板断裂は、放置すると筋肉の質が低下(脂肪変性)し、断裂サイズが大きくなり、腱板修復が困難になります。腱板断端がMRIで白く映る、断裂サイズが大きい、脂肪変性が高度であることは、腱板修復術後の再断裂のリスク因子であると報告されています(Takeuchi N, et al.: Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc; 29(8): 2587-2594,2021.)。そのため、腱板断裂は早期診断・早期治療が重要です。肩の痛みが1週間以上続く場合は、整形外科を受診することをお勧めします。



THE

がんばる人 たち

がん化学療法看護認定看護師



■ 外来化学療法室専任スタッフ

がん化学療法看護認定看護師 豊永 万紀子

がん化学療法看護認定看護師って？

抗がん剤等の化学療法を受ける主にがんの患者さんが安心して治療を受けられるよう、専門知識を用いて薬剤の投与管理や支持療法※1、副作用出現時の支援などを行う看護師です。患者さんやご家族のQOL※2維持・向上に向けて、水準の高い看護を提供します。

認定看護師になったきっかけ

患者さんのために勉強したいと思ったからです。専門知識があるのとないのとでは患者さんに提供できる看護が違ってきます。近年のがん化学療法の発展は著しく、経験だけでは追いつかない状況です。最新のがん治療を学び、多くの知識を得て専門性をより高めたいと思い認定看護師になりました。

現在の業務について

外来化学療法室※3専任の看護師として、薬の投与管理はもちろん、病気や薬に対する正しい情報提供や薬の副作用を軽減するためのアドバイス、患者さんが治療と生活を両立するためのサポートをしています。患者さんは、病気や薬の副作用に対する恐怖、今後の生活に対する不安、治療に対する迷いなど、治療の過程で様々なお悩みや問題に直面します。患者さんの状態をしっかりと把握した上で適切な支援ができるよう医師からの病状説明に同席したり、問題解決のために面談を行っています。また、患者さんのお悩みに対して医師、薬剤師、栄養士など専門の職員からより適切なアドバイスができるよう多職種間で連携を取り、チームとなって取り組んでいます。ただ安全に治療を行うことだけでなく、いかに患者さんの生活の質を落とさず、元の状態に近づけていけるかということを目指しています。



■ 多職種間でのカンファレンス風景

大切にしていることは

患者さんが前向きに治療に取り組めるよう、患者さんとのコミュニケーションを大切にしています。患者さんの中には病気に対する不安や恐怖で涙を流す方もいらっしゃいます。そんな患者さんに寄り添い、応援し、長期間コミュニケーションを重ねていく中で前向きになっていく姿を見たり、「通院の時間が楽しかった。」と患者さんに言ってもらえたりした時はとても嬉しかったです。治療中、せめてこの部屋(外来化学療法室)にいる間は少しでも楽しく過ごせるように、スタッフが一丸となって取り組んでいます。

がんは治療期間が長くなることも多く、患者さんとは年単位のお付き合いになることも少なくないため、患者さんには家族のような愛情をもって接しています。

患者さんへメッセージ

治療中は気持ちが落ち込んでしまうことも多いと思いますが、私たちは常に患者さんの味方です。病気や治療のこと、薬の副作用に関するお悩みはもちろん、家族の前では言いづらい弱音や不安な気持ちなど、何でも話してもらえればと思います。患者さんにとって最善の方法を一緒に考え、少しでも前向きに治療に取り組めるようにできる限りのサポートをします。



■ 医師の診察を受けながら治療を受ける患者さん



■ 看護師による投与管理

※1 支持療法

がんそのものに伴う症状や、治療による副作用・合併症・後遺症による症状を軽減する目的で行われる予防策や治療のことです。例えば、薬の副作用である白血球減少に対するG-CSF注射(白血球を増やす薬)、副作用に対する薬剤を使用して症状をコントロールすることです。

※2 QOL

Quality of Life(クオリティ・オブ・ライフ)の略で、生活の質のことです。

※3 外来化学療法室

主にがんの患者さんが、入院ではなく通院で抗がん剤等の化学療法を受けるための部屋です。

管理栄養士がつくる
季節のレシピ

たっぷり夏野菜 の卵とじ



栄養科 科長
石崎 律子

材料 (2人分)

トマト	150g (中1個)
レタス	50g (2枚)
ゴーヤ	50g (1/6本)
鶏卵	100g (2個)
牛乳	30g (大さじ2)
サラダ油	3g (小さじ1)
和風ドレッシング	30g (大さじ2)



栄養成分 (1人分)

エネルギー

174kcal

たんぱく質 ● 8.1g
脂質 ● 7.3g
食塩相当量 ● 1.1g
食物繊維 ● 1.8g
カリウム ● 359mg
ビタミンC ● 31mg

作り方

- ① トマトは乱切り、レタスは1cm幅、ゴーヤは縦割りしワタを外して2mmの厚さにスライスする
- ② 鶏卵を割りほぐし牛乳を混ぜる
- ③ フライパンにサラダ油を入れ加熱し①を加えて中火で炒める
- ④ レタスがしんなりしたら和風ドレッシングと②を加えて炒める
- ⑤ 蓋をして、弱火で2~3分ほど蒸らし加熱する
- ⑥ 器に盛り付ける

1皿で1日の約1/3の野菜とビタミンCを摂ることができます
下処理から盛り付けまで10分程度でできる時短メニューです

トマト



トマトにはカリウムやビタミンCやカロテンなどの栄養が含まれています。また旨味成分であるグルタミン酸が豊富です。

生食だけではなく加熱することでより美味しく、また、旨味が増します。

栄養の豆知識 食中毒に注意

食中毒は夏だけでなく1年を通して発生していますが、梅雨時から9月頃までの高温多湿の環境では、食中毒菌が増殖しやすくなります。きちんとした対策をとって食中毒にかからないように注意しましょう。

基本は手洗いです。手洗いの習慣を身につけて菌が体内に入るのを予防しましょう。食品は清潔な環境で調理し、中心部までよく加熱することが大切です。また、少しでもおかしいと感じたら捨てる勇気も必要です。

薬の豆知識

片頭痛とお薬について

頭痛は、明確な原因がないけれど繰り返し起こる頭痛（一次性頭痛）と病気が原因で起こる頭痛（二次性頭痛）の大きく二種類にわかれます。その中でも一次性頭痛は、さらに「緊張型頭痛」「片頭痛」「群発性頭痛」の三つに分類することができます。



その中の「片頭痛」はズキズキと脈打つような痛みが特徴で、脳に血液を送る血管が拡張すると頭痛が起きやすくなります。不規則な睡眠やストレス、梅雨や台風時期の低気圧といった天候の変化などで起こりやすく、また

生理周期に関連して起こることもあるため女性ホルモンにも関係しているのではないかとされています。治療薬にはカロナールやロキソプロフェンなどの鎮痛薬のほかに、マクサルトやレルパックスなどのトリプタン製剤と呼ばれる片頭痛に特化した頭痛薬もあります。しかし、トリプタン製剤は処方された用量や回数を守らず誤った使い方をすると、薬が原因でかえって頭痛を誘発してしまう可能性があるため、使用する場合は医師の指示通りに服用しましょう。



薬剤科
櫻田 有彩



KASHIIHARA

香椎原病院だより

「手の暖かさの伝わる病院」の気持ち新たにユニフォームを一新。

医師、看護師、薬剤師、ケアワーカー、管理栄養士、リハビリテーションセラピストなど、医療現場で患者様に接している多くの病院スタッフがいます。患者様にとって病院スタッフは、医療を提供する者であることはもちろんですが、いろいろな思いの中、病気の治療に取り組まれている患者様の一番の理解者となり支える役目があります。私たちは時には友となり、家族となり、そばに寄り添い、笑顔と真心で接することで安心してご入院生活を送っていただけるよう励んでいます。

患者様への思いを胸に、医療スタッフの制服を新しくしました。気持ち新たに患者様のサポートをさせていただきます。



さんしんニュース SANSHIN NEWS

前立腺生検の精度向上へ。新規検査機器を導入しました。

2022年6月、超音波画像診断装置としてKOELIS社のトリニティを新しく導入いたしました。

当院では以前から前立腺生検を行ってききましたが、トリニティ導入により、これまで以上に精度の高い組織の採取が可能になります。

トリニティは、事前にMRIで撮影した画像と超音波画像を用いて(図1)、腫瘍の大きさや位置を3次元的に把握しながら組織採取を行うことができます。これにより、腫瘍組織の検出率が向上し、より正確なリスク評価ができます。

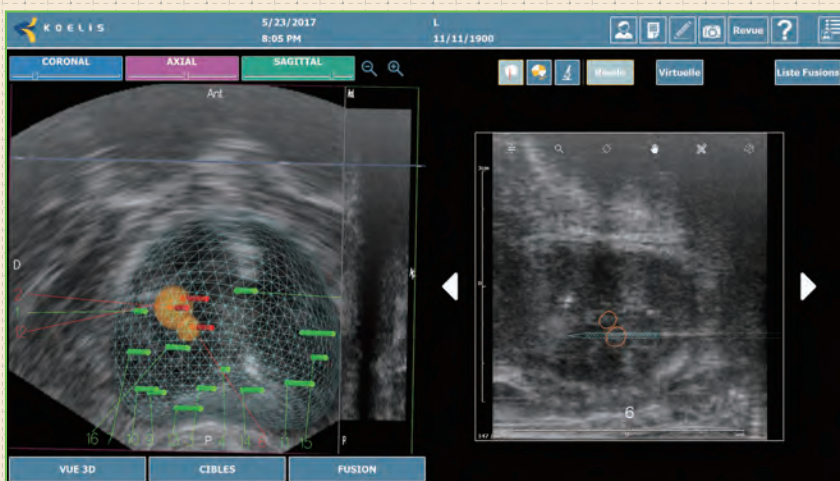


泌尿器科 主任部長
横溝 晃



泌尿器科 医長
阿部 立郎

図1



▲ 3Dマッピング

▲ リアルタイム超音波画像

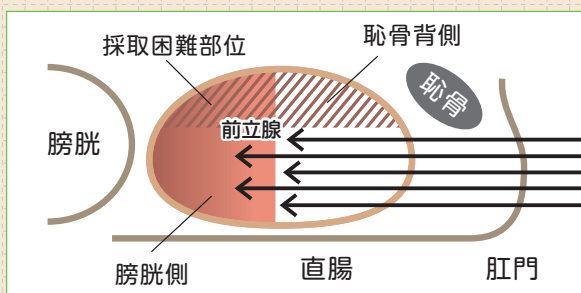


▲ KOELIS社
トリニティ

従来は3次元的に腫瘍の場所を特定するのが難しかったのですが、トリニティにより従来よりも正確に位置を特定できるようになります(図2)。

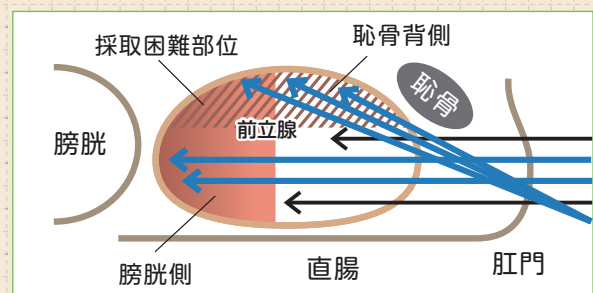
図2

従来



▲ 膀胱側、前立腺の辺縁部、直腸側、恥骨背側が取りづらい。

トリニティを使用した場合



▲ 膀胱側、前立腺の辺縁部、直腸側の採取が容易。膀胱側、恥骨背側に対して斜め下からガイドを介して採取が可能であり、フリーハンドでも生検マッピングが可能。

病院及び関連施設のご案内



日本医療機能評価機構
認定病院

原三信病院



〒812-0033 福岡市博多区大博町1-8
☎092-291-3434 FAX 092-291-3424
URL <https://www.harasanshin.or.jp>
✉ info@harasanshin.or.jp



●診療時間

月～金曜日 9:00～13:00 14:00～17:00

※土・日・祝祭日および12月30日～1月3日はお休みです。但し、急患の患者さんは、救急外来にて診察いたします。また、12月29日は午前診療のみとなります。

●診療科目

総合診療科	循環器科	消化管内科	肝胆膵内科
血液内科	呼吸器科	腎臓内科	糖尿病内科
脳神経内科	外科	胸部外科	乳腺内分泌外科
整形外科	脳神経外科	泌尿器科	婦人科
放射線科	麻酔科	歯科・口腔外科	
睡眠呼吸障害センター	健康管理センター		
病理診断科			

無料

シャトルバスのご案内



原三信病院 ↔ 博多港 を運行中。

患者さんはもちろん、ご家族の方やお見舞の方もご利用下さい。

※詳しくは病院内の時刻表をご覧ください。



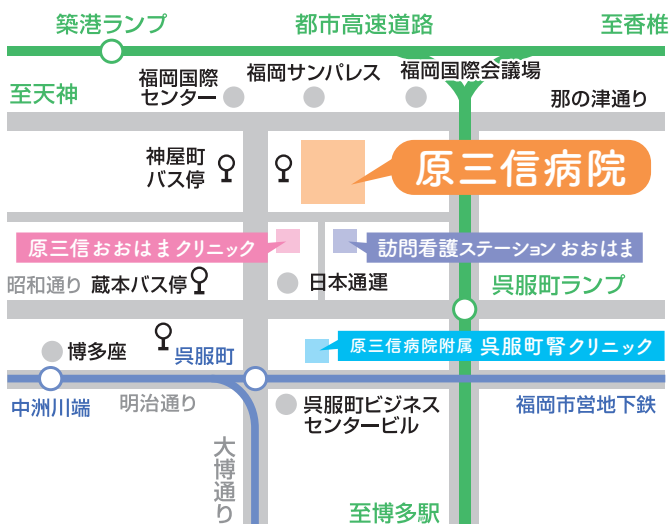
香椎原病院 ↔ 千早駅西口 ↔ 吉塚駅東口
原三信病院 間を運行中。

シャトルバス時刻表

	香椎原病院発	千早駅西口発	吉塚駅東口発	原三信病院着	原三信病院発	吉塚駅東口発	千早駅西口発	香椎原病院着
午前	9:30		→	10:00	10:10	10:20	10:40	10:50
午前	11:25	11:35	11:55	12:05	12:15	12:25	12:45	12:55
午後	13:40	13:50	14:10	14:20	14:30	14:40	15:00	15:10
午後	15:40	15:50	16:10	16:20	16:30	→		17:00

運休日：日曜・祝日・年末年始

※時刻、路線は変更することがございます。詳しくは受付にてお尋ね下さい。



原三信病院附属 呉服町腎クリニック



〒812-0035 福岡市博多区中呉服町1-25
☎092-262-2828 FAX 092-262-2853
✉ gofukumachi@harasanshin.or.jp

●透析シフト

月～土曜日 9:00～(昼透析)
16:00～(夜透析)

※透析は週3回(月水金・火木土)の昼と夜の4シフトで行います。

●診療内容 人工透析

香椎原病院



〒813-0011 福岡市東区香椎3-3-1
☎092-662-1333 FAX 092-662-1330
URL <http://www.kashiihara.or.jp/>

●診療時間

月～金曜日 9:00～13:00
14:00～17:00

●診療科目

内科・リハビリテーション科・循環器内科



原三信おおはまクリニック



〒812-0034 福岡市博多区下呉服町2-13 双和ビル2F
☎092-283-5121 FAX 092-283-5131

●診療時間

月・金・土 9:00～13:00
火・水・木 9:00～13:00
14:00～18:00

●診療科目 外科・乳腺外科・泌尿器科

訪問看護ステーション おおはま



〒812-0034 福岡市博多区下呉服町4-13
☎092-262-4626 FAX 092-291-3046

●受付時間

月～金曜日 9:00～17:00

●提供サービス内容

訪問看護・訪問リハビリ
居宅介護支援(ケアプラン作成)